スポットビジョンスクリーナー 基準値変更方法

＜ご準備いただくもの＞
スポットビジョンスクリーナー（以下、 SVS）本体
USB メモリ（可能であれば、 他に何も保存されていないもの）
CSV ファイルを編集できる PC

＜基準値変更方法＞
① SVS 本体に USB メモリを挿入し、 本体画面の “ツール” (表 1)→“インポート／エクスポート” (表 2)→ “エクスポート” (表 3)→個人情報～にチェックは入れずエクスポート (表 4) を実行します。



表 1



↑SVS シリアルが 5 桁の機器

↓SVS シリアルが 12 桁の機器



表 2

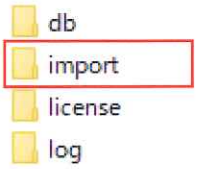


表 3

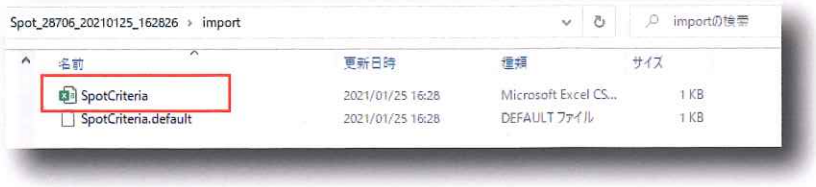


表 4

② USB メモリを PC で開きます。 フォルダが 2 つありますが、 フォルダ名が長いフォルダの方を開きます。
③ フォルダ内の” import” を開きますと (表 5)、” SpotCriteria” という CSV ファイルがあり (表 6)、 これが SVS の基準値を決めています。 このファイルの数値を変更したい数値に変更・保存したのち、 この CSV ファイルを USB メモリの最上部階層に保存します。



(表 5)



(表 6)

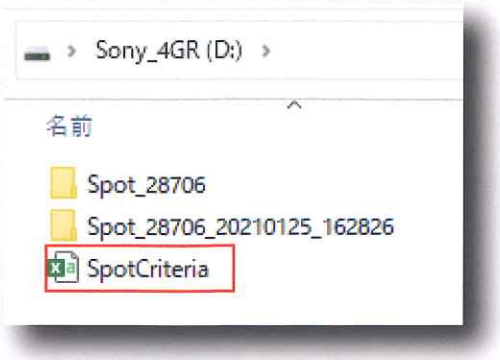
例：現行の Spotcriteria.csv （赤枠の数値が日本弱視斜視学会・日本小児眼科学会推奨基準値では変更を要する箇所）
※数値は半角数値で入力してください

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	Age Range From (months)	Age Range To (months)	Anisometropia	Astigmatism	Myopia	Hyperopia	Anisocoria	Gaze Vertical	Gaze Nasal	Gaze Temporal	Gaze Asymmetry
2	6	11	1.5	2.25	2	3.5	1	8	5	8	8
3	12	35	1	2	2	3	1	8	5	8	8
4	36	71	1	1.75	1.25	2.5	1	8	5	8	8
5	72	239	1	1.5	1	2.5	1	8	5	8	8
6	240	1200	1	1.5	1.5	1.5	1	8	5	8	8
7			不同視	乱視	近視	遠視	瞳孔不同	上下斜視	内斜視	外斜視	左右の眼位ずれ

現行の基準と学会推奨基準の比較（赤枠が変更推奨箇所）：「３歳児健診における視覚検査マニュアル」（日本眼科医会発行）より引用

基準	屈折 (D: ジオプター, 値は絶対値)						斜視 (度)		
	遠視 (等価球面度数)	近視 (等価球面度数)	遠視 (球面度数)	近視 (球面度数)	乱視	不同視	垂直方向	内側方向	外側方向
i. 現行基準 ≦	2.50	1.25	–	–	1.75	1.00	8	5	8
ii. 学会推奨基準 ≦	2.50	2.00	–	–	2.00	1.50	同上		

④ USB メモリを再度、 スポットビジョンスクリーナーに差し込んで頂き、 “ツール”→“インポート／エクスポート”→“インポート” を実行します。



PC 上での USB メモリのフォルダ
SpotCriteria ファイルを最上層に保存します



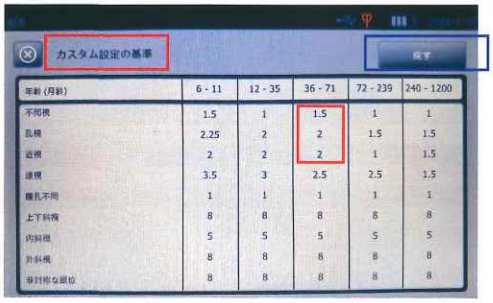
USB メモリを SVS に再度接続し、
インポートします

⑤ 変更した SpotCriteria.csv を USB に保存した状態で、 SVS 本体にインポートを実行することで、
基準値が変更した数値に上書き保存されます。
インポート後、 実際に基準値が変更されたかの確認には、 “ツール”→“基準” アイコンを選択し、 ご確認ください。



↑SVS シリアルが 5 桁の機器

↓SVS シリアルが 12 桁の機器



変更した基準値が SVS に上書きされた場合、
上記赤枠のように「カスタム設定の基準」と表示されます。
（赤枠内の数値は実際に変更された数値です。 実際には赤枠は表示されません）

注意：青枠の「戻す」を押すと、 工場出荷時の基準値に戻りますので、 ご注意ください